

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成29年11月2日(2017.11.2)

【公開番号】特開2015-13993(P2015-13993A)

【公開日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【年通号数】公開・登録公報2015-005

【出願番号】特願2014-159151(P2014-159151)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/00 (2006.01)

C 0 8 G 18/48 (2006.01)

C 0 8 L 75/04 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/40 (2006.01)

D 0 6 M 15/643 (2006.01)

D 0 6 M 15/564 (2006.01)

D 0 6 M 13/358 (2006.01)

D 0 6 M 13/432 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 18/00 C

C 0 8 G 18/48 Z

C 0 8 L 75/04

B 3 2 B 27/00 1 0 1

B 3 2 B 27/40

D 0 6 M 15/643

D 0 6 M 15/564

D 0 6 M 13/358

D 0 6 M 13/432

【誤訳訂正書】

【提出日】平成29年9月4日(2017.9.4)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

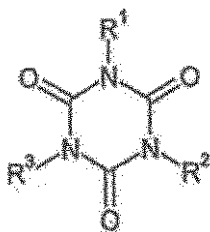
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) 少なくとも一種のポリウレタン、

(B) 少なくとも一種の一般式 I a の化合物：

【化 1】



I a

[但し、式中、 R^1 、 R^2 及び R^3 は、同一であっても異なってもよく、 $A^1 - NCO$ から選ばれ、式中

A^1 は、2～20 個の炭素原子を有するスペーサーである]、及び

(C) 少なくとも一種の反応性基を有するシリコン化合物、を含む水性分散液であって、

前記シリコン化合物 (C) が、アミノ基を有するシリコン化合物、アミノアルキルアミノ基を有するシリコン化合物、及び $COOH$ 基を有するシリコン化合物からなる群から選ばれることを特徴とする水性分散液。

【請求項 2】

更に、(D) アミノ基も $COOH$ 基も有さない少なくとも一種のポリジ- $C_1 - C_4$ -アルキルシロキサンを含む請求項 1 に記載の水性分散液。

【請求項 3】

前記式中、 A^1 が、フェニレン、トルイレン、及び $C_2 - C_{12}$ -アルキレンからなる群から選ばれる請求項 1 又は 2 に記載の水性分散液。

【請求項 4】

R^1 、 R^2 及び R^3 は、 $(CH_2)_6NCO$ であることを特徴とする請求項 1 ～ 3 の何れか 1 項に記載の水性分散液。

【請求項 5】

請求項 1～4 のいずれか一項に記載の水性分散液を使用する方法であって、多層シート状基材の製造のための使用方法。

【請求項 6】

請求項 1～4 のいずれか一項に記載の水性分散液を用いることを特徴とする多層シート状基材の製造方法。

【請求項 7】

第一の工程においてシリコンからシート状物を製造し、

第二の工程において前記シート状物に構造を与え、構造化体を形成し、

第三の工程において請求項 1～4 のいずれか一項に記載の水性分散液を前記構造化体に塗布し、

第四の工程において前記工程から得られた層をシート状基材上に転送することを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

第一の工程においてシリコンからシート状物を製造し、

第二の工程において前記シート状物に構造を与え、構造化体を形成し、

第三の工程において所定の水性分散液を前記構造化体に塗布し、

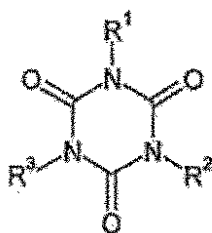
第四の工程において前記工程から得られた層をシート状基材上に転送する、

多層シート状基材の製造方法であって、前記所定の水性分散液は、

(A) 少なくとも一種のポリウレタン、

(B) 少なくとも一種の一般式 Ia の化合物：

【化 2】



Ia

[但し、式中、 R^1 、 R^2 及び R^3 は、同一であっても異なってもよく、 $A^1 - NCO$ から選ばれ、式中

A¹ は、2～20個の炭素原子を有するスペーサーである」、及び
 (C) 少なくとも一種の反応性基を有するシリコン化合物、
 を含むことを特徴とする多層シート状基材の製造方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0013

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0013】

以下に、好ましいポリウレタン(A)を製造するための出発材料と製造方法を例示する。
 ポリウレタンの製造の際に通常用いられる成分である(a)、(b)、(c)、および必要に応じて(d)及び/又は(e)の例を、以下に述べる：

用いるイソシアネート(a)は、一般的には既知の脂肪族、脂環式、芳香脂肪族及び/又は芳香族イソシアネートであり、例えば、トリ-、テトラ-、ペンタ-、ヘキサ-、ヘプタ-及び/又はオクタメチレンジイソシアネート、2-メチルペンタメチレン1,5-ジイソシアネート、2-エチルブチレン1,4-ジイソシアネート、ペンタメチレン1,5-ジイソシアネート、ブチレン1,4-ジイソシアネート、1-イソシアナト-3,3,5-トリメチル-5-イソシアナトメチルシクロヘキサン(イソホロンジイソシアネート、IPDI)、1,4-及び/又は1,3-ビス(イソシアナトメチル)シクロヘキサン(HXDI)、シクロヘキサン1,4-ジイソシアネート、1-メチルシクロヘキサン2,4-及び/又は2,6-ジイソシアネート及び/又はジシクロヘキシルメタン4,4'-、2,4'-および2,2'-ジイソシアネート、ジフェニルメタン2,2'-、2,4'-及び/又は4,4'-ジイソシアネート(MDI)、ナフチレン1,5-ジイソシアネート(NDI)、トルイレン2,4-及び/又は2,6-ジイソシアネート(TDI)、ジフェニルメタンジイソシアネート、3,3'-ジメチルビフェニルジイソシアネート、1,2-ジフェニルエタンジイソシアネート及び/又はフェニレンジイソシアネートである。4,4'-MDIの使用が好ましい。脂肪族のジイソシアネート、特にヘキサメチレンジイソシアネート(HDI)もまた好ましく、また芳香族ジイソシアネート、例えばジフェニルメタン2,2'-、2,4'-及び/又は4,4'-ジイソシアネート(MDI)や上述の異性体の混合物が特に好ましい。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0037

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0037】

式中、R¹、R²及びR³は、異なってもよく、好ましくは同一であり、A¹-NCOとA¹-NH-CO-Xから選ばれ、式中、

A¹は、2～20個の炭素原子を有するスペーサーであり、非置換又は1～4個のC₁-C₄-アルキル基で置換されたアリーレン、アルキレン、及び1,4-シクロヘキシレンなどのシクロアルキレンから選ばれる。好ましいスペーサーA¹は、フェニレン、特にパラフェニレン、さらに好ましくはトルイレン、特にパラトルイレン、及びエチレン(C₂H₄)や-(C₂H₂)₃-、-(C₂H₂)₄-、-(C₂H₂)₅-、-(C₂H₂)₆-、-(C₂H₂)₈-、-(C₂H₂)₁₀-、-(C₂H₂)₁₂-などのC₂-C₁₂-アルキレンである。

Xは、O(AO)_xR⁴から選ばれる。式中、

AOは、C₂-C₄-アルキレンオキシド、例えばブチレンオキシド、特にエチレンオキシド(C₂H₄O)またはプロピレンオキシド(CH(CH₃)CH₂O)または(C₂H₄CH(CH₃)O)であり、

xは、1～50の範囲の、好ましくは5～25の範囲の整数であり、

R^4 は、水素、 C_1-C_{30} -アルキル、特に C_1-C_{10} -アルキル、例えばメチル、エチル、 n -プロピル、イソプロピル、 n -ブチル、イソブチル、 sec -ブチル、 $tert$ -ブチル、 n -ペンチル、イソペンチル、 sec -ペンチル、ネオペンチル、1,2-ジメチルプロピル、イソアミル、 n -ヘキシル、イソヘキシル、 sec -ヘキシル、 n -ヘプチル、 n -オクチル、2-エチルヘキシル、 n -ノニル、 n -デシルから選ばれ、特に好ましくは C_1-C_4 -アルキル、例えばメチル、エチル、 n -プロピル、イソプロピル、 n -ブチル、イソブチル、 sec -ブチル、及び $tert$ -ブチルから選ばれる。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0042

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0042】

アミノアルキルアミノ基、例えば、 $-NH-CH_2-CH_2-NH_2$ 基、 $-NH-CH_2-CH_2-CH_2-NH_2$ 基、 $-NH-CH_2-CH_2-NH(C_2H_5)$ 基、 $-NH-CH_2-CH_2-CH_2-NH(C_2H_5)$ 基、 $-NH-CH_2-CH_2-NH(CH_3)$ 基、及び $-NH-CH_2-CH_2-CH_2-NH(CH_3)$ 基がさらに好ましい。この一つ以上の反応性基は、シリコン化合物(C)に、直接結合しているか、好ましくはスペーサー A^2 を介して結合している。 A^2 は、非置換又は1~4個の C_1-C_4 アルキル基で置換されたアリーレン、アルキレン、1,4-シクロヘキシレンなどのシクロアルキレンから選ばれる。好ましいスペーサー A^2 は、フェニレン、特にパラフェニレン、さらにトルイレン、特にパラトルイレン、および C_2-C_{18} -アルキレン、例えば、エチレン(CH_2CH_2)、更に $-(CH_2)_3-$ 、 $-(CH_2)_4-$ 、 $-(CH_2)_5-$ 、 $-(CH_2)_6-$ 、 $-(CH_2)_8-$ 、 $-(CH_2)_{10}-$ 、 $-(CH_2)_{12}-$ 、 $-(CH_2)_{14}-$ 、 $-(CH_2)_{16}-$ 、及び $-(CH_2)_{18}-$ である。